

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和4年6月22日(水)

1. 基本事項

施策		青少年の健全育成の推進		期間	平成30年度～令和4年度	施策担当部課名	子ども未来部	子ども青少年課
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	目的・対象				
	中項目	1	健やかに成長できるまちづくり					
	小項目	3	青少年の健全育成の推進					
	主要プロジェクト							
重要度・満足度	健全な青少年の育成については、重要度はやや低く、満足度はやや高く推移している。			施策推進のための主な取組	青少年健全育成に関わる団体の育成・支援 青少年の社会参加活動の促進 非行防止活動の促進			
施策を取り巻く社会状況等	高度経済成長は、経済的な豊かさや多くの利便性をもたらす、一方、核家族化、少子化が進行し、親の過保護等で、青少年の依存心が助長され、社会的自立していく時期を以前より遅らせている。							

2. 評価指標

上段は目標値、下段は実績値

区分	指標名(上段) 算出式・説明(下段)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				達成	一部達成	一部達成	一部達成	
成果指標	地域で子どもを育む活動をしている市民の割合	%	-	23.00	24.00	25.00	26.00	27.00
	深谷市民まちづくりアンケート		24.00	23.30	21.10	22.50	19.90	
	青少年の補導件数	件	-	713.00	692.00	671.00	651.00	631.00
	深谷警察署・寄居警察署の補導件数		458.00	335.00	253.00	235.00	291.00	

3. 一次評価(今後の施策の方向性)

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の影響があるものの地域で子どもを育む活動をしている市民の割合は、減少傾向が続いている。市内における青少年の補導件数は減少傾向が続いていたが令和3年度は増加に転じている。深谷市子どもサポート市民会議が行う地域パトロール等を支援し、地域における青少年の見守り体制を維持していく。				
			評価者	子ども青少年課長 美野田 芳二

4. 改善改革プラン(3. 一次評価を受けての具体的な解決策)

区分	具体的な対応策等
<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業の拡充	青少年を取り巻く社会情勢は刻々と変化し、その状況への対応に即応できない状態の子どもたちが多くいる中において、青少年育成団体の役割は大変大きなものと言える。今後も青少年健全育成に関わる団体を引き続き支援していく。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価(所属長の見解)

青少年の自主性や協調性を養い、地域社会の発展に貢献できるような人材を育てることは重要であり、深谷市子どもサポート市民会議は、青少年の健全育成のために積極的に取り組み活動を行っている。このような団体は引き続き支援することは必要であると考えている。また、深谷市子どもサポート市民会議で実施している地域パトロールを推進し、防犯に努めることにより青少年の補導件数が減少するように支援し、家庭、学校はもとより地域の大人が健全育成に取り組めるような環境づくりを支援する。	
所属長	子ども未来部長 小林 利夫